

研究課題名	腹臥位療法における褥瘡発生の要因分析と予防策の検討
研究期間	実施許可日 ～2026 年 3 月 31 日
研究の対象	2021年4月1日～2023年5月31日の期間中に広島大学病院ICUに入室していた患者さんのうち、腹臥位療法を実施した患者さん（18歳以下、顔面熱傷患者さんは除く）
研究の目的・方法	研究目的：腹臥位療法を実施した患者の褥瘡発生の要因分析と予防策を検討します 研究の方法：2021年4月1日～2023年5月31日の期間中にICUに入室していた患者のうち、腹臥位療法を実施した患者に対して、診療録、看護記録、褥瘡対策計画書より調査します。
研究に用いる試料・情報の種類	① 患者基本情報（入室時） 原疾患、基礎疾患、年齢、身長、体重、BMI、性別、人工呼吸器使用の有無、ICU入室期間 ② 腹臥位療法中の6時18時の以下データ 血液ガスデータ、バイタルサイン、血液データ、末梢冷感の有無、RASS、APACHE IIスコア、SOFAスコア、人工呼吸器設定値、筋弛緩薬・鎮静剤使用の有無、循環作動薬使用の有無と最大使用量、VV-ECMOの実施有無 ③ 腹臥位療法に関連した内容 腹臥位療法実施期間と時間、褥瘡発生日、胃管・気管チューブ類のテープ交換の有無、体位変換の間隔、除圧部位、除圧間隔、自動体位交換実施の有無、行動制限実施の有無 ④ 褥瘡に関連した内容（褥瘡対策計画書より） 新規褥瘡の発生の有無、発生時期、褥瘡部位、褥瘡の既往の有無、日常生活自立度、病的骨突出、関節拘縮、皮膚の脆弱性（浮腫、スキンーケアの保有）、知覚の認知、皮膚の湿潤、活動性、可動性、栄養状態、摩擦とずれ、深さ、滲出液、大きさ、炎症・感染、肉芽組織、ポケット、マットレスの種類などについて調査させていただきます。
外部への試料・情報の提供	ありません
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日
個人情報の保護	情報は解析する前に、特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、個人が特定されないようにさせていただきます。
研究組織	本学の研究責任者

	広島大学病院 看護部 看護師長 林 容子
その他	利益相反はありません
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。 広島大学病院 看護部 看護師長 林 容子 担当者： 広島大学病院 看護部 看護師 原 唯菜 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5587